

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度6月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

## 事業名 **新**ヒノキ等新規販路拡大対策支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 加工流通係 電話番号：058-272-1111 (内 3013)

E-mail: c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 2,160千円 (現計予算額：0千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	2,160	0	0	0	0	0	0	0	2,160
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・コロナ禍等の影響により外国産材が輸入減となり、高騰化・入手困難な状況が続いている。
- ・その影響で、外国産材製品から国産材製品への転換が進んだが、国産材製品価格が高騰し、今度は国産材の製材品の供給不足が生じている。
- ・県産材の需要も同様に高まっているところであるが、内装材等の高品質のヒノキ製品については、東海圏では需要量が伸びていない。
- ・一方で関東・関西圏においては、外材から国産材への転換の中で、東濃桧への引き合いが来るなど、高品質のヒノキ製品の関心が高く、需要が見込まれる。
- ・高品質のヒノキ製品の需要を掘り起こすには、国産材への転換が進む今この時が千載一遇のチャンスである。そのためには、県内の製材工場に対し関東、関西圏での販路拡大に必要な経費支援を早期に支援し、機会を逃さないようにする必要がある。

## (2) 事業内容

- ・事業内容：関東・関西圏をメインターゲットとし、県外（隣接県を除く）においてヒノキ等の製品の新規販路拡大に取り組む場合に、その製品の現地までの運搬経費を支援する。
- ・事業主体：ぎふ性能表示材制度、J A Sに取り組む県内の製材工場
- ・補助要件：補助対象製品は、ヒノキ等のぎふ性能表示材、J A S 製品  
※ヒノキ等とは、ヒノキ、スギ、その他の樹種を含む  
ぎふ性能表示材制度、J A S に取り組む事業者であること  
消費地の新たな売り先との継続的な需給協定を結ぶこと

## (3) 県負担・補助率の考え方

製品運搬経費の 1/2 の額 なお、上限額 4,000 円/m<sup>3</sup>

## (4) 類似事業の有無

なし

なお、「ぎふの木で家づくり支援事業」における資材の運搬経費については、県内分のみ補助対象に含まれるため当事業とは重複しない。

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,160	製品運搬経費補助：4,000 円/m <sup>3</sup> ×540m <sup>3</sup>
合計	2,160	

### 決定額の考え方

事業内容を精査し、計上を見送ります。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

第3期岐阜県森林づくり基本計画

2 林業・木材産業の振興

### (2) 国・他県の状況

岐阜県独自の対策である。

### (3) 後年度の財政負担

なし

### (4) 事業主体及びその妥当性

- ・事業主体：ぎふ性能表示材制度、J A S に取り組む県内の製材工場  
県内製材工場はコロナ禍の影響をうけている事業者であり支援することは妥当である。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	ヒノキ等新規販路拡大対策支援事業費補助金
補助事業者（団体）	ぎふ性能表示材制度、JASに取り組む県内の製材工場 （理由）県内製材工場はコロナ禍の影響をうけている事業者であり支援することは妥当である
補助事業の概要	（目的）地元では需要が少ない高品質ヒノキ製品を需要の旺盛な関東、関西圏等の販路拡大をすることにより、コロナ禍からの経営回復を図る。 （内容）関東・関西圏等において県産ヒノキ製品の新規販路拡大に取り組む場合に、その製品の現地までの運搬経費を支援する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）・製品運搬経費の1/2の額 補助上限額：4,000円/m <sup>3</sup> （理由）県内製材工場はコロナ禍の影響をうけている事業者であり支援することは妥当である
補助効果	今回当事業で協定を結ぶことにより新規販路を確保することができ、今後の継続的な製品の販売につなげることができる。
終期の設定	終期令和3年度 （理由）コロナ対策予算のため

### （事業目標）

・新規販路を拡大することにより、ヒノキ製品の計画的な生産と製材事業者の経営の安定が図られる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
①ぎふ性能表示材製品出荷量（千m <sup>3</sup> ）	8.4	50	50

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 2,160千円
指標①目標		8.4	50	50	50
指標①実績				(推計値)	(推計値)

指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内の製材工場が、新規販路を拡大し、需要に継続的な製品の供給をすることが必要。</li> </ul>
--

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い     △：必要性が低い</li> </ul>
(評価)    新型コロナウイルス感染症に伴う対策 ○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>
(評価)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている     △：向上の余地がある</li> </ul>
(評価)

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・ <b>廃止</b> (理由) コロナ対策予算のため
--